

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

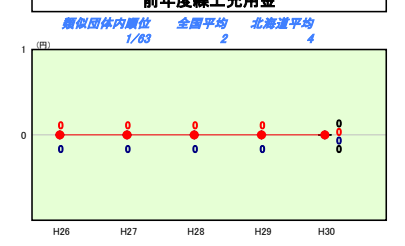
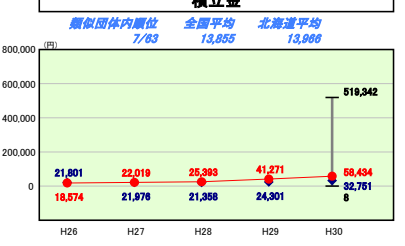
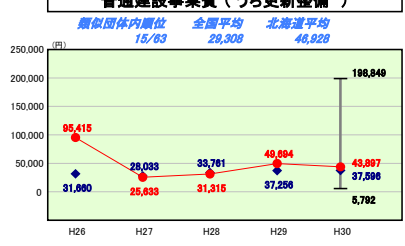
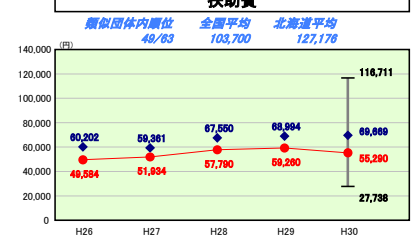
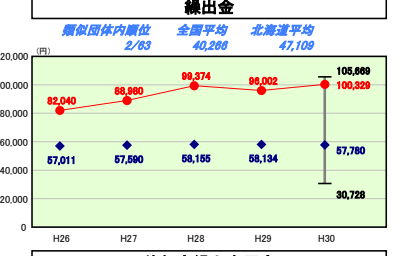
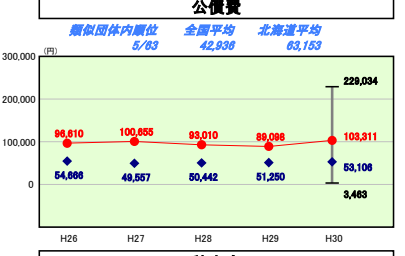
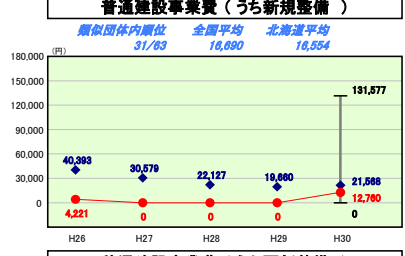
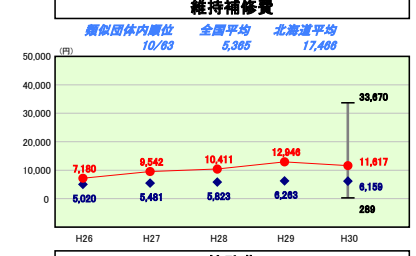
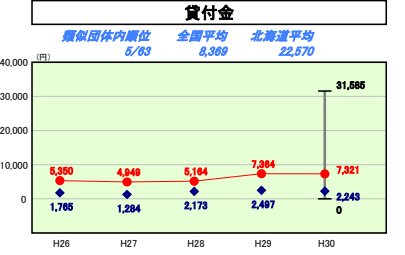
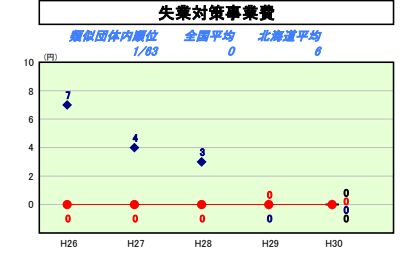
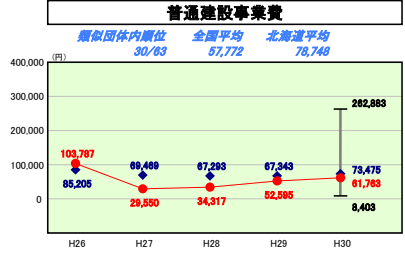
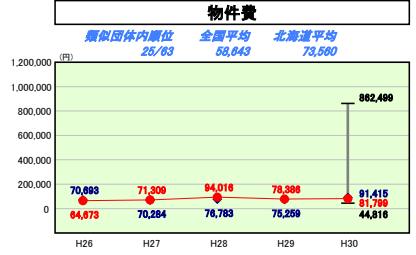
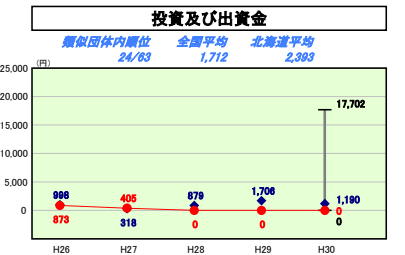
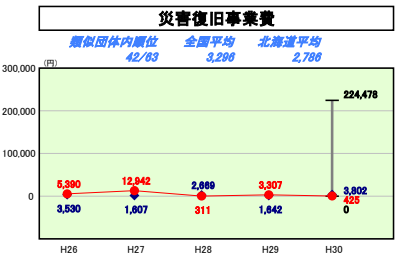
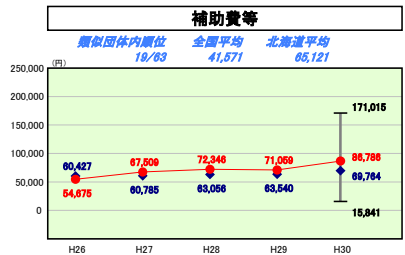
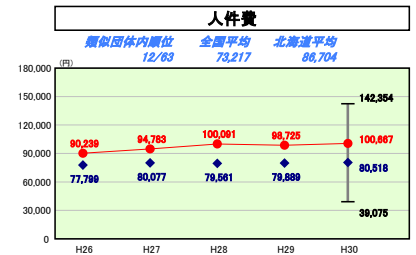
平成30年度

北海道白老町

人口	16,981人(981.1.1現在)	実収赤字比率	-	%	
うち日本人	16,816人(981.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%	
世帯数	425.64世帯	実収公債費比率	14.9	%	
歳入総額	11,982,456千円	将来負担比率	68.3	%	
歳出総額	11,338,937千円	市町村類型	H26 IV-2	H27 IV-2	H28 IV-2
実収収支	643,519千円	(年度毎)	H29 IV-2	H30 IV-2	
標準財政規模	6,195,282千円				
地方債現在高	10,232,783千円				



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成30年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析値

補助費については、認定こども園給付費負担金、ふるさと納税に係る返礼品等の経費がH29年に続き高い水準となっている。
 普通建設事業については、平成29年度繰越事業白老中学校の大規模改修事業と2020年に開設する民族共生会館周辺整備関係事業の末広東町通り跨線橋(自由通路)整備工事の増による。災害復旧事業費については平成28年度については港湾施設が台風被害を受けたが、翌年度に繰越したことより、平成29年度については増となっているが、平成30年度には、胆振東部地震で被害を受けたが、住民一人当たりのコストについては平成29年度より減となっている。
 繰出金については、(4)-1経常経費分析表に記載したとおり、公共下水道会計や病院会計等の繰出金が大きく、今後も「財政健全化プラン」に基づく着実な財政運営を行ない、連結赤字比率を発生させないことのないよう、取組みを進めていく。